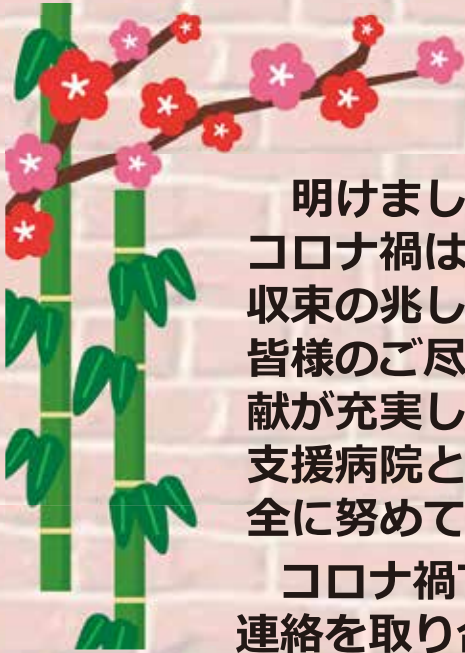


# あかれんが vol.15

Yokohama Chuo Hospital AKARENGA

## 藤田院長より新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。  
コロナ禍は4年目に入っても一向に  
収束の兆しが見えませんが、病院は  
皆様のご尽力で地域社会への医療貢  
献が充実してきました。今年も地域  
支援病院として地域住民の安心・安  
全に努めていきましょう。


コロナ禍で分かったことは、地域の医療機関がコロナ対応で  
連絡を取り合い、協力して診療にあたることの大切さです。

今も続く未曾有の病禍に我々が敢然と立ち向かって来れたのは、地域連  
携の賜物だと固く信じています。新興感染症対策だけでなく激甚災害時  
の連携なども自院だけの問題として捉えることなく、地域全体で考える  
必要があります。入院中の患者様や外来通院中の地域住民も含めた安全  
対策を地域で話し合っていないとではなりません。

更にこれからは単に患者様の移送だけでなく、医療内容について  
の連携も注視されています。医療機能の分担に加えて、施設間安  
全対策協力や地域における抗菌薬処方と薬剤耐性菌対策なども始  
まっています。今年も地域の各医療機関と積極的に連携を取り  
合って、質の高い医療連携を実現させましょう。

今年もよろしくお祈いします。

病院長



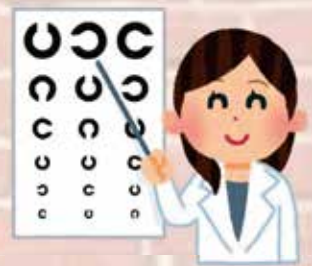
## 視能訓練士のご紹介

眼科の視能訓練士ってなにをする人？ と思いの方も多いかと思いますが、日本では1971年に誕生した国家資格です。眼科領域のみに特化しているため半世紀たった今でも知名度が低く、職種名を言っても必ずと言っていいほど「どんな仕事ですか？」と尋ねられます。ですので、今回はお仕事内容についてご紹介いたします。

国家資格として登場した当時は子供の弱視訓練が主な仕事でしたが、最近では子供の弱視の早期発見、子供自体の減少により、弱視訓練しなくてはいけな子供は減ってきています。現在は眼科一般の検査を担当する施設の方が多い様です。

当院では視力と視野が主な仕事ですが、他にも以下のような検査に携わることができます。

- \* 視力検査、眼圧検査、視野検査、色覚検査、眼底・前眼部の写真撮影、画像診断検査、角膜形状検査、電気生理検査など
- \* 両眼視機能・眼位・眼球運動検査、斜視および弱視の視能訓練
- \* 3歳児健康診査、就学時健康診断、生活習慣病予防健診
- \* 拡大鏡、単眼鏡、遮光眼鏡、拡大読書器などの選定、日常生活上の工夫や支援機関の紹介



人間の眼は、とても複雑で大切な器官であるため、多くの検査があります。様々な検査を医師の指示の下実施して医師の診断や治療に必要な的確なデータを提供し、眼科医療をサポートすることが視能訓練士の仕事です。

乳幼児からご高齢の方まで世代を超えて皆さまの大切な目の健康を守るお手伝いをしています。目のことで気になる事やご相談があればぜひ、お越しく下さい。お待ちしております。



次回の部署紹介は歯科衛生士(歯科)です

## 『ハローよこはま2022』に参加しました

令和4年11月13日（日）象の鼻パークで中区民祭り『ハローよこはま2022』が4年ぶりに開催され、今回は「SDGsに取り組むハローよこはま」をキャッチフレーズにワークショップや電気自動車の展示などSDGsを身近に考えられるブースがそろっていました。

その中で中区医師会のブースのお手伝いで参加させていただき、来場者に向けた健康相談・血管年齢・ストレステストの協力を致しました。来場者から好評をいただき、約100名の方が立ち寄っていただきました。



列ができるほど好評でした



ちびっこや大人にも大人気のパトカー・救急車・白バイ乗車体験もありました



来場者の健康意識の高さを実感しました。今後も地域住民へ向けた健康支援や広報活動を継続していきたいと思えます。



日本に3台しかないという浸水被害の状況の体験ができました。浸水したドアを開ける体験（びくともしませんでした）や、水深約20cmの人工濁流の中を歩く水中歩行体験（水圧があり歩きにくかったです）をし、改めて水害の恐怖を感じました。

## COVID-19の対策（4C病棟）

4C病棟は、COVID-19陽性患者の受け入れを始めて2年経ちました。スタッフは使命感を持ち、感染に注意をしながら日々、患者様に看護を提供しています。

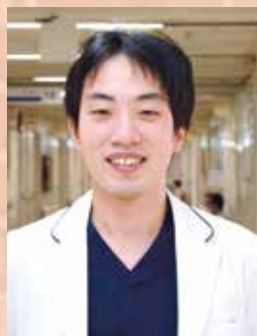
閉鎖された空間ではありますが、みんなで声をかけ合って頑張っています！



个人防护具も冬は暖かいけど（時々暑い！）、夏は汗でビシャビシャ！！  
だけど冷却スプレーかけて乗り切りました。



# 研修医を終了するにあたり



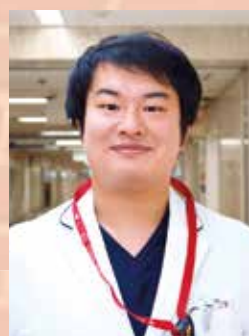
**須澤 綾友 医師**

(すざわりょうゆう)

**臨床研修医**



2年間と短い時間でしたが、皆様に支えられ有意義な研修を送ることが出来ました。横中で学んだことを忘れず、今後も頑張ります。



**根本 悠太 医師**

(ねもと ゆうた)

**臨床研修医**



研修中は知識だけでなく、数多の経験を積めました。人間としても医師としても成長していき、社会に貢献できるよう努めていきます。



**井上 隼輔 医師**

(いのうえ しゅんすけ)

**臨床研修医**



2年間お世話になりました。この2年間で培った経験を生かして、今後の医師生活を頑張っていこうと思います。



**宮部 湧仁 医師**

(みやべ ゆうと)

**臨床研修医**



2年間、多くのことを学ばせて頂き、ありがとうございました。次の環境でも学んだことを糧にして精一杯頑張ります。

プログラム責任者 大岩副院長から一言

研修医の2年間は医師形成の大切な期間です。この期間に当院の研修プログラムを選択頂きまして、ありがとうございました。これからも地域医療を意識し、さらなるステップに進んでいただけたらと思っております。また多くの実地診療医や関連病院の先生方に研修のご指導ご協力を賜りまして、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 新しく入職した方を紹介します



令和4年10月1日付採用  
呼吸器内科非常勤医師  
尾添 良輔 医師  
(おそえ りょうすけ)

10月1日付で着任させていただきました。  
何卒よろしくお願い申し上げます。



令和5年1月1日付採用  
脳神経外科常勤医師  
八木 千裕 医師  
(やぎ ちひろ)

1月から赴任しました脳外科の八木です。  
よろしくお願い致します。

申し上げます  
およろしく  
本年も



おわりに・・・

今年も新たな年が始まりました。今年度は医師の働き方改革やコロナ対策の転換期を迎えます。JCHO横浜中央病院としても十分な対策を考えて対応してまいりたいと思います。『あかれんが』に当院の最新の取り組みなどを発信する予定です。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



独立行政法人 地域医療機能推進機構  
Japan Community Health care Organization  
JCHO (ジェイコー)  
横浜中央病院  
Yokohama Chuo Hospital

〒231-8553 横浜市中区山下町268番地  
TEL : 045-681-9534 (地域連携室直通)  
FAX : 045-681-9542  
E-mail : chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp  
URL : <http://yokohama.jcho.go.jp>

